

舗装の個別施設計画

平成29年5月

広島県三原市

目 次

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

2.3 管理基準

2.4 点検方法・点検頻度

3. 計画期間

3.1 計画期間

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

5.2 対策内容と実施時期

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

(1) 管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		A s 舗装	C o 舗装	
1 級市町村道	134.6 km	126.0 km	2.4 km	95.4%
2 級市町村道	157.4 km	144.6 km	4.3 km	94.6%
その他市町村道	1,143.4 km	948.4 km	55.1 km	87.8%
計	1,435.4 km	1,219.0 km	61.8 km	89.2%

※ A s 舗装に簡易舗装を含まれる

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト縮減を目指す。

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

- ・ 市道等級，道路幅員等を踏まえ分類

分類	対象道路
分類Cの道路	片側1車線以上の1・2級市道 または都市計画街路
分類Dの道路	上記以外 〃

2.3 管理基準

ひび割れ率	わだち掘れ量
40%	40mm

2.4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	目視による	5年に1度
分類Dの道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	

3. 計画期間

3.1 計画期間

- ・当該個別施設計画の計画期間は、平成29～33年度とする。

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

- ・舗装損傷状況，路線の重要性，交通量等を考慮し，補修の優先順位を決定する。

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

- ・平成25年度に点検した239kmの診断結果は以下のとおり

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ
分類Cの道路	70.8km	13.1km	13.0km
分類Dの道路	101.7km	22.4km	17.6km

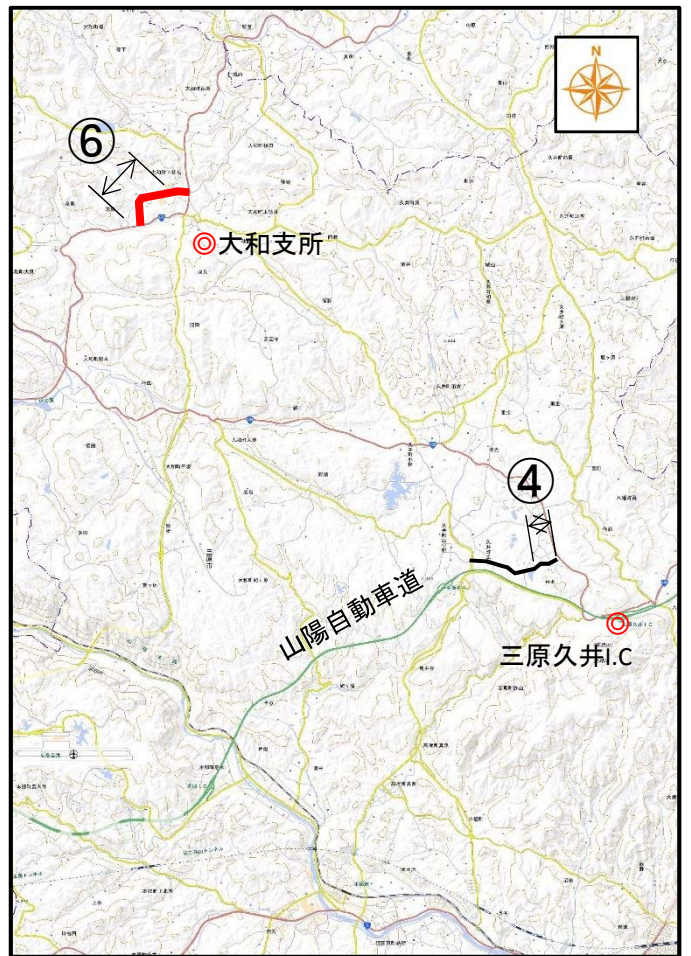
【参考】

区分		状態
Ⅰ	健全	損傷レベル小：管理基準に照らし，劣化の程度が小さく，舗装表面が健全な状態である。
Ⅱ	表層機能保持段階	損傷レベル中：管理基準に照らし，劣化の程度が中程度である。
Ⅲ	修繕段階	損傷レベル大：管理基準に照らし，それを超過している又は早期の超過が予見される状態である。

5.2 対策内容と実施時期

- ・別図のとおり（区間，箇所毎の図表により明示）

■点検実施箇所・対策必要箇所



点検実施路線(分類Dは措置必要箇所のみ表示)

平成29年度
点検路線



平成30年度
点検路線



平成31年度
点検路線



